

# 平成23年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 370

政策体系	15	事業分類	ソフト事業	所管部局	美山支所 産業建設課
会計	一般会計	科目	5. 労働費 - 1. 労働諸 - 1. 労働諸 現年		
事業名	ふるさと雇用再生事業				
細事業名	美山エコツーリズム推進事業				
				評価表作成者	美山支所 産業建設課 大澤忠和

## 1. 事業の概要

ふるさと雇用再生特別交付金は雇用情勢が悪化している状況において、地域の実情や創意工夫に基づき、新たな雇用機会を創出する取り組みに交付金が交付される制度で、財団法人美山町自然文化村にエコツーリズムの推進を通じて、地域コーディネーターやツアーガイドを育成・雇用する事業を委託する。

## 2. 事業の目的と必要性

### ① 施策で目指す目標との関連付け

全国の旅行会社と連携し、修学旅行と農村交流を組み合わせた独自のプランを提供し観光客の増加、地域経済の活性化を図ることで、豊かな自然を活かし、人を温かく迎える施策の実現を目指す。

### ② 事業を実施する必要性

雇用情勢が悪化している状況において地域資源を生かした新たな観光事業に取り組み、新たな雇用の創出、地域の活性化を図る。

## 3. 事業費の推移

		単位	平19決算	平20決算	平21決算	平22決算	平23予算	平24計画	平25計画
決算額または計画額		千円			14,000	10,000	0	0	0
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等		千円			0	0	0		
財源内訳	使用料・手数料等	千円			0	0	0	0	0
	国・府支出金	千円			14,000	10,000	0	0	0
	地方債	千円			0	0	0	0	0
	一般財源	千円			0	0	0	0	0
職員等の従事人員		人/年	—		0.11	0.22			
人件費		千円	—		916	1,576			
事業費総額		千円	—		14,916	11,576			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。  
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

## 4. 主な事業費の内訳

美山エコツーリズム推進事業の委託  
 委託料：10,000,000円

## 5. 事業結果の概要

専任職員の雇用 4名×12ヶ月

## 6. 活動の詳細

(1) 各種ハイキングツアー		
芦生エコポイントハイキング スノーシューハイキング	4月～11月(100回) 12月～3月(58回)	参加者1,625人 参加者 228人
(2) ふるさと食体験		
春のエコハイキング 夏のエコハイキング	4月29日～5月8日 8月12日～16日	参加者696人 参加者653人
(3) その他ツアー等		
日本一の田舎の旅(ろうきん共催事業) 園部美山周遊バス運行(JR西日本・京阪京都交通共催)	1月～3月(10回) 9月18日～11月30日	参加者 230人 参加者3,319人

## 7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

本事業を通して、美山町自然文化村を中心にエコツーリズムに関わる地域コーディネーターやツアーガイドの雇用と育成が図れた。  
また、エコツーリズム事業として美山ネイチャー号や園部・美山周遊バスの運行と受け入れ、春と夏の期間でのエコバイキングや修学旅行の受け入れなどに取り組み、観光客の増加と地域経済の活性化に大きく貢献した。  
今後も、地域資源を活かした都市交流事業の一環として、各種団体と連携してエコツーリズム事業を一層推進していく必要がある。

### 【参考】過年度の評価

#### ■平成22年度の所属長評価

本事業による美山町自然文化村にエコツーリズムを通じて、地域コーディネーターやツアーガイドの雇用と育成が図れた。  
また、新たなエコツーリズム事業として、美山ネイチャー号の運行と受け入れ、エコバイキングや修学旅行の受け入れなどに取り組み、観光客の増加と地域経済の活性化に大きく貢献した。  
今後も、地域資源を活かした都市交流事業の一環として、エコツーリズム事業を一層推進していく必要がある。

#### ■平成21年度の所属長評価